

平成 21 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1495000091	事業の開始年月日	平成20年6月1日		
		指定年月日	平成20年6月1日		
法人名	有限会社エー・イー・エス				
事業所名	グループホーム 灯り				
所在地	(210-0834) 神奈川県川崎市川崎区大島3-15-7				
サービス種別 定員等	☐ 小規模多機能型居宅介護		登録定員	名	
			通い定員	名	
			宿泊定員	名	
		☒ 認知症対応型共同生活介護		定員 計	8 名
			ユニット数	1 ユニット	
自己評価作成日	平成21年12月8日		評価結果 市町村受理日		平成22年4月1日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ホームは閑静な住宅街にあり近所に神社、公園、商店街、スーパーなど外出支援がしやすい環境です。利用者は主婦の生活歴の方が多く食事作りに楽しく取り組まれています。利用者は共同のフロアを生活の場としており居室は、ほぼ寝室として過ごされています。経験豊富な常勤職員が多くなじみの関係作りができています。利用定員が8名なことから手厚いケアができています。
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPRATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 S Yビル2F		
訪問調査日	平成21年12月16日	評価機関 評価決定日	平成22年1月29日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

このホームの特徴 ①このホームは(有)エー・イー・エスの社長が「困っている人を支えたい」との気持ちから、地域への貢献を目指して設立したものである。この地域は川崎市の中でも旧京浜工業地帯の大手企業の関連（下請け）企業や住宅等で古くから栄えた地域であり、商店街も巾広く展開している。地域には高齢者が多く、その方々への貢献として3階建のビルを1階は小規模多機能型居宅介護＋訪問介護事業所、2階がこのグループホーム、3階は共同賃貸住宅として開設し、地域在住の方には訪問介護のサービスと小規模多機能型サービスを、自立での生活が不安な方には共同賃貸住宅を、認知症が進み家族でのケアが難しい方にはグループホームでの生活の提供を考えている。。ここでの福祉施設の開設についても地域から歓迎された。建物は白に橙色のラインの入ったもので灯台のイメージで色を考えた。地域の特性として下町の雰囲気があり、24時間職員がいるのは安心と云って頂いている。入居者は皆地元の方であり、地元には有名な川崎大師や大島劇場、追分まんじゅうなどがあり、なつかしい場所に時々行けるので、地域とのつながりが回想出来る良い立地となっている。 ②1階から3階までの各種サービスを持ち、介護に対する方針は、その人に合ったサービスを選んで頂けるよう総合的に説明、相談し、その方に合ったサービスを受けて頂いている。理念の「必要な時に必要なケア」を初めのアプローチの段階からお選び頂き、「一緒に笑って支え合いながら楽しく暮らす」ことを実現している。入居者は和やかに楽しい雰囲気で生活されていた。
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ～ 14	1 ～ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ～ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ～ 35	9 ～ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ～ 55	14 ～ 20
V アウトカム項目	56 ～ 68	

事業所名	グループホーム 灯り
ユニット名	

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
		○	3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
		○	3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅰ 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者が大切にしたい気持ちを職員に伝え話し合いながら理念をつくりました。「一緒に笑って支え合いながら楽しく暮らす」「必要な時に必要なケア」の実践の向上に努めています。	管理者が大切にしたい気持ちを職員に伝え、話し合いながら理念をつくった。地域の方も含めて「一緒に笑って支え合いながら楽しく暮らす」「必要な時に必要なケア」の実践の向上に努めている。毎日ミーティングを30分～1時間行っており、月1回は全体会議を行い、その中で理念の周知に努めている。理念の展開として“地域の灯台としての信頼”を唱い、地域との密着に努めている。	今後の継続	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	外出時には近所の方と気軽に挨拶、会話をし、地域の行事には積極的に参加しています。敬老会は町内会館をお借りし地域の方をご招待し開催しました。	外出時には近所の方と気軽に挨拶、会話をし、地域の行事には積極的に参加している。敬老会は町内会館をお借りし地域の方をご招待し開催している。町内会にも加入し、近くの八幡神社のお祭りや公園でのイベント、桜本の日本まつりなどにも参加している。地域的には古くからの街で商店街も盛んであり、買い物にも便利である。職員とのつながりで小学校の運動会も見学に行っている。	今後の継続	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	利用者の外出時、近所の方と接し認知症を理解して頂いています。地域の方がホームに相談に訪れた時には親切、丁寧に対応しています。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年度内に実施予定あり(小規模多機能居宅介護と一緒に実施予定のため調整中)	運営推進会議は昨年9月に開催次来間が空いてしまっている。メンバーは老人会、リンゴ会(地域のお助け会サークル活動)ホットライン(同業者)、地域包括支援センターであったが、途絶えているので再構築が必要で努力中である。1階の小規模多機能事業所との共催を考えている。	今後の継続	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	高齢者事業推進課の担当者と相談や連絡を密にし、助言や指導をお願いし協力関係を築くように取り組んでいます。	高齢者事業推進課の担当者と相談や連絡を密にし、助言や指導をお願いし協力関係を築くように取り組んでいる。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関するマニュアルをもとにミーティングで勉強会をしています。玄関、階段は日中は鍵をかけていません、職員の見守りにより危険を回避しています。	身体拘束に関するマニュアルをもとにミーティングで勉強会をしている。玄関、階段は日中は鍵をかけず、職員の見守りにより、ケアするようにしている。外に出たい時には職員が必ず付き合うように努めている。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	資料をもとにミーティングで周知徹底しています。言葉かけも含め精神面での配慮にも注意を払っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する制度の資料がありミーティング時に勉強会を開き理解に努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	丁寧でわかりやすい説明を心がけています。疑問点、不明な点などの確認作業を行い納得して頂いた上で契約書にサインをお願いしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者、家族には、まめに意見、要望のお伺いを立てて対応しています。入居契約する際に事業所内、外部における相談窓口の説明をしています。	利用者、家族には、まめに意見、要望のお伺いしている。入居契約する際には必ず自宅に伺いアセスメントした上で、職員会議で話し合い入居を決めている。更に事業所内外の説明及び相談窓口の説明をしている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者は職員との面談の機会を設け意見を聞き検討、対応しています。管理者はミーティング時や日頃から職員と多くコミュニケーションをとり意見や提案に検討、対応しています。	代表者は職員との面談の機会を設け意見を聞き検討、対応している。管理者はミーティング時や日頃から職員と多くコミュニケーションをとり意見や提案に検討、対応している。開所時には食器、什器などは職員が相談しながら揃えたりで意見を充分反映している。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員から質問、疑問等ある時は代表者はしっかり受け止め受け答えしています。代表者からも職員に望む事求めている事を伝え向上心をもって働けるよう取り組んでいます。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者や職員は代表者に日々、報告、連絡、相談を行っており個々の力量の把握に努めています。連絡の掲示板があり外部研修の参加、資格取得を促しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	多くの事業所に見学をさせてもらって意見交換しています。また同業者の方からの見学希望も多く気軽に来所してもらい交流しています。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	表情、言動からサインをキャッチできるよう努めています。24時間アセスメントシートに記録し様子観察して不安なく安心して暮らせるための支援方法を話し合っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居初期に利用者との面会の頻度を悩まれる家族が多く双方の立場になり検討、対応しています。家族に対し全職員、明るく挨拶に努め関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	生活歴の把握に努め環境の変化に慣れてもらえるよう検討し対応しています。家族の方には安心してもらえるような言葉かけを心がけています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	暮らしを共にする視点を強く認識し毎日の生活の中で傾聴に努め利用者から学ぶ姿勢を大切にし良好な関係作りに努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	電話や来所時にホームでの様子を伝えています。敬老会では家族と利用者が一緒に共同して楽しめるゲーム大会をおこないました。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人の方が訪ねてこられた時など気軽にきて頂けるよう言葉かけをしています。職員と一緒にできるかぎりなじみの場所へ行けるように支援しています。	友人の方が訪ねてこられた時など気軽にきて頂けるよう言葉かけをしている。職員と一緒にできるかぎりなじみの場所へ行けるように支援している。近隣には有名な川崎大師、大島劇場、追分まんじゅうなど懐かしい記憶を呼び起こす地域環境があり、川崎在住だった入居者には住みやすいホームである。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士会話や共同作業がしやすいよう心配りしています。ゲーム、外出、食事作り等、興味をもち一緒にできることを日々、話し合っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された方の家族に電話連絡したりご本人の所へ訪ねて行ったりして関係性を持続しています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の横に座りゆったりとたくさんコミュニケーションをとり希望を聞いています。日々のミーティングでは利用者と円を囲み意向の把握に努めています。	利用者の横に座りゆったりとたくさんコミュニケーションをとり希望を聞いている。日々のミーティングでは利用者と円を囲み意向の把握に努めている。意見を言える入居者が多いので、直接意向を聞いたり、ご家族経由で聞くようにしている。絵を書くことを聞き、やってもらったら毎日、絵を書くようになった人もいます。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の訪問調査時に生活歴を詳しく聞いています。入居後も以前の暮らし方などを聞き現状の課題改善に向け取り組んでいます。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	記録、申し送りの伝達をしっかりと行い全職員の情報の共有に努め利用者の把握に取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々のミーティングで時間をかけよく話し合い、当面の方向性をだし実践、検討を繰り返して取り組んでいます。	モニタリング表を活用して気付いたこと、変化、出来事、家族の情報を記入し、日々のミーティングで時間をかけよく話し合い、当面の方向性をだし実践、検討を繰り返して取り組んでいる。部屋担当を決め、モニタリングを中心として行えるようにしている。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のミーティングで変化がみられた事、気づきを話し合い見直し検討をつづけサービスの統一をはかっています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族の要望、状況により協力病院以外での通院の付き添い、送迎をおこなっています。併設の事業所の利用者との交流も支援しています。。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の病院関係者や小学校から見学、交流の依頼があります。囲碁のボランティアの方に来て頂いています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関があり家族の了承のもと連携先の病院で医療を受けています。受診の際には、なじみの看護師が多く安心して医療を受けています。	協力医療機関があり月2回の往診があり、家族の了承のもと連携先の病院で医療を受けている。受診の際には、なじみの訪問看護ステーションの看護師が来てくれて、安心して医療を受けている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中であらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師の定期的な訪問があり相談し指導してもらっています。急変や心配と思える事がある時は24時間体制連絡がとれ対応してもらっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	連携先の協力病院があり情報交換や相談がしやすい体制ができています。退院後の指導、アドバイスを頂いています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に看取りの指針について説明し、ご理解頂いています。重度化した場合や終末期の在り方は家族、医師、看護師とのカンファレンスにて対応体制づくりができています。	入居時に看取りの指針について説明し、理解頂いている。重度化した場合や終末期の在り方は家族、医師、看護師とのカンファレンスで対応体制づくりをすようにしている。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時での対応の仕方をホームに掲示してあり慌てる事なく対応できる様にしています。。救急救命法の研修に参加し取り組んでいます。医師、看護師から指導、頂いています		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防士派遣依頼をし、夜間訓練実施しました。今後、全職員が、身につけ、地域とも協力体制を築くよう努めていきます。	防災訓練では消防士に来てもらい、夜間想定訓練なども実施している。今後、全職員が、救命救急法を身につけ、地域とも協力体制を築くよう努め、運営推進会議にも計って行くことにしている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その人らしさを大切にし人生の先輩から学ぶ姿勢をもち敬意をもって接する事を心がけています。個人情報鍵のかかるロッカーに保管しています。	その人らしさを大切にし人生の先輩から学ぶ姿勢をもち、敬意をもって接する事を心がけている。個人情報鍵のかかるロッカーに保管している。	今後の継続	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員は利用者の横にゆったりと座り思いや気持の理解に努めています。ミーティング時に利用者を交え話し合いに参加したりしています。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	外出、レクリエーション、入浴等、ご本人の意思を尊重し支援しています。日々どのような生活を望まれているか傾聴に努めています。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	化粧品、シャンプー等、一人ひとり、なじみの物を使用しています。希望を伺い職員が化粧、マニキュアをする事もあります。衣類等の購入の際ご本人の好きな買い物を楽しまれています			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたい物をお聞きし利用者の嗜好の把握に努めています。味付け、盛り付け、野菜切り、テーブル拭き等、一緒に行っています。出勤している職員全員が利用者と楽しく食べています	独自のメニューで食べたい物をお聞きし利用者の嗜好の把握に努めている。味付け、盛り付け、野菜切り、テーブル拭き等、一緒に行っている。出勤している職員全員が利用者と楽しく食べている。グループホーム所期の流れを継続している。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量を記録しバランスの取れた食事作りに努めています。摂取量が少ない方には職員と楽しく会話しながら摂取して頂けるよう支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、声かけ誘導し可能な限り清潔保持に努めています。訪問歯科を利用し口腔ケアをおこなう方もいます。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表に記録し排泄パターンを把握しておりご本人の様子や時間によるトイレ誘導をおこない失禁を未然に防げるよう支援しています。	排泄チェック表に記録(出ることが分からない、分けるが体が動かないなどの観察も含めて)し排泄パターンを把握しており、本人の様子や時間によるトイレ誘導をおこない失禁を未然に防げるよう支援している。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳酸菌をほぼ毎日、提供し摂取されています。散歩、体操を日課とし運動を促しています。便秘みられる方には医師に相談し便秘薬を服用し経過観察に努めています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	職員と浴中、楽しく会話をしコミュニケーションの場となっています。入浴拒否があれば時間変更や翌日などで対応しています。羞恥心の強い方には同性介助しています。	職員と入浴中、楽しく会話をしコミュニケーションの場となっている。入浴拒否があれば時間変更や翌日などで対応している。羞恥心の強い方には同性介助している。初期の羞恥心は少しずつ時間をかけて今は皆大丈夫になっている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個人の生活習慣を大切にしながら本人のペースで就寝されています。その日の体調や表情をみて休息を促す時もあります。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書をファイリングし確認、申し送りによる説明、連絡ノートへの記入を行い全職員の理解に努めています。薬の変更の後は様子観察し変化の確認に努め医師に報告しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴を大切にしながら楽しみや役割になることを日々、話し合っています。外出、食事作り、片付け、ゲーム、絵描き等、楽しみや気分転換できるよう支援しています		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩、お参り、買物に毎日のように出かけています。家族と一緒に散歩、ドライブ、食事に行ったり地域の行事に積極的に参加しています。	散歩、お参り、買物に毎日のように出かけている。家族と一緒に、散歩、ドライブ、食事に行ったり、地域の行事に積極的に参加している。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居の際にはこれまで本人が使い慣れた、なじみの物をお持ちに頂ける事をお勧めしています。入居後の買い物は職員と一緒に好き好みの物を選んでもらっています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	声かけし本人に希望があれば職員がお手伝いの上、家族に電話し会話を楽しんでいる様子がありました		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関に飾ったお花をみて笑顔をみせています。行事、外出先で撮った写真をホーム飾りご覧になっています冷暖房の温度調整、加湿器を置き快適に保つよう努めています。	玄関に飾った花をみて笑顔をみせる、行事、外出先で撮った写真をホーム飾りご覧になる、冷暖房による温度調整、加湿器の利用など快適に保つよう努めている。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う利用者同士、居室に自然に行かれ会話を楽しんでいる様子がみられます。フロアで楽しそうに談話されてる時などは職員は少し離れた所で見守りに努めたりしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際にはこれまで本人が使い慣れた、なじみの物をお持ちに頂ける事をお勧めしています。入居後の買い物は職員と一緒に好きの物を選んでもらっています。	入居の際にはこれまで本人が使い慣れた、なじみの物をお持ちに頂けるようお勧めしている。入居後の買い物は職員と一緒に好きの物を選んでもらっている。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	フロア、浴室等、手すりをつけています、居室の場所がわからなくなる事がある利用者には名前を明記しています。		

目 標 達 成 計 画

事業所

グループホーム 灯り

作成日

平成22年3月1日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進委員会の開催が少ない	もっと頻繁に開催する	同じ建物内の小規模多機能型と同じメンバーの為、スケジュール調整をして合同で行う	3ヶ月
2	13	外部研修の参加が少ない	ひとつでも多くの研修参加を目指す	職員への参加を促すと同時に、システムの改正やスケジュール調整の取り組み	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。